

## 長野県立大学三輪キャンパス 基本・実施設計

所在地: 長野県長野市(長野短期大学敷地)  
主催者: 長野県  
共同設計者: 石本建築事務所  
期間: 2014-2016  
対象面積: 約31,776㎡  
賞: 新県立大学施設整備事業設計  
プロポーザル 最優秀賞

既存の長野県短期大学を、4年制大学に転用するにあたり、新たな「知の拠点」となる教育研究環境の整備が求められ、「街のようにキャンパスをつくり、キャンパスのように街を使う」というコンセプトのもと、「地域と連携する実践的な学習/研究の場“リビングラボラトリー”」を提案。

キャンパスを、一つながりの空間に学生・教職員が日常的に集いながら、学外のOBをはじめ地元企業、役所、他大学(教育・研究機関)、地域の人々もさまざまな目的をもって、自然な交流を生み出すひとつの「街」と捉え設計に取り組んだ。

また、プロジェクトのショーケースのように、ここにくれば大学や地域活動の「今」(リビング)がわかる、キャンパス自体が実践教育の生きた実験場(ラボラトリー)となることを目指した。

